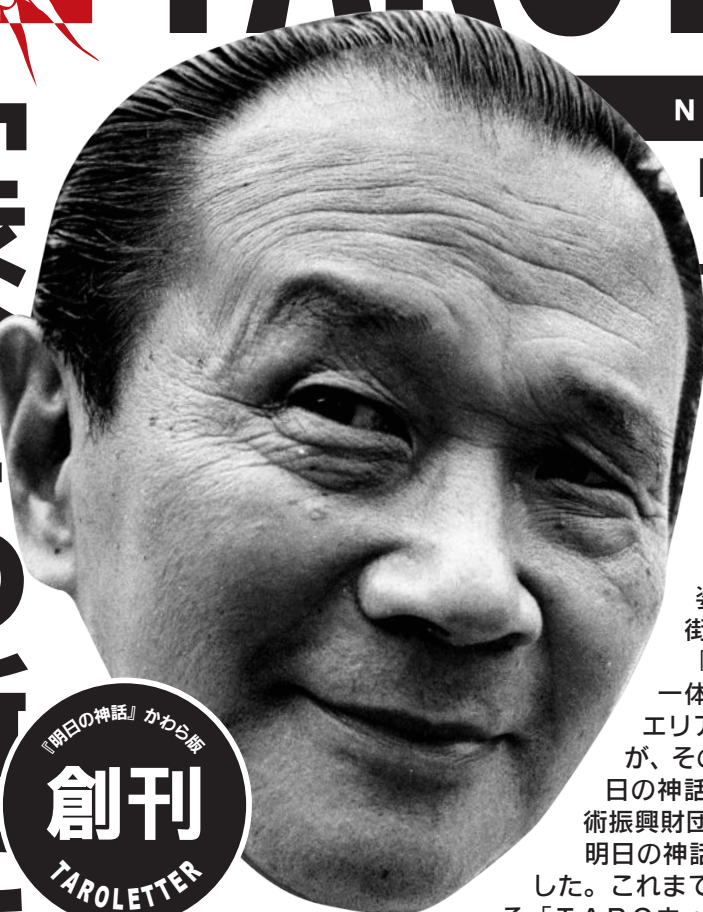


『明日の神話』かわら版

発行：特定非営利活動法人 明日の神話保全継承機構 / 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-14-11 小林ビル 9F / <http://asunoshinwa.or.jp>


TARO LETTER

「渋谷」の新たなアイコンに



NPO法人明日の神話保全継承機構 理事長 小林幹育

『明日の神話』は渋谷の新たなシンボルとして定着しました

岡本太郎の巨大壁画『明日の神話』が渋谷マークシティ2階連絡通路に一般公開され、11月17日で1年。この間、『明日の神話』は、多くの人々に大きな感動とエネルギーを与えて続けております。

この一年、東京の新名所として、マスコミ関係やさまざまな方々に『明日の神話』を取り上げていただきました。「パブリックアートが似合う文化の薫り漂う街」として渋谷・青山の魅力は一層高まり、『明日の神話』は、間違いなく渋谷の新たなシンボルとして定着しました。姿かたちではなく、その存在感の大きさを、渋谷・青山の街の皆さまと共に実感しているところです。

「ハチ公から太郎へ。」をスローガンに、多くの皆さまが一体となって『明日の神話』の招致活動を進め、渋谷・青山エリアに決定したときの喜びはこの上もないものでありましたが、その喜びはますます高まっているところです。この地を『明日の神話』の恒久設置場所に指定くださった岡本太郎記念現代芸術振興財団にあらためて感謝いたします。

明日の神話保全継承機構はNPO法人として2年目の活動に入りました。これまで当法人では、渋谷・青山に点在する岡本太郎の作品を巡る「TAROウォーク」、『明日の神話』の制作秘話や岡本太郎のパブリック

アートについての勉強会「TAROトーク」などの活動をしてまいりました。11月初旬には5日間にわたって、深夜に壁画のほこりを払う清掃活動も行いました。これからも私どもは、『明日の神話』を未来永劫、お守りし、偉大な芸術家・岡本太郎の功績と彼が残した芸術の振興を目的に活動を継続してまいります。

「かわら版」では、今後、当法人の活動や岡本太郎にまつわるちょっとした話題などを紹介し、発行していきたいと考えております。これからも、巨大壁画『明日の神話』の保全・継承活動に、皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。



みごと街に溶け込んだ

『明日の神話』再生プロジェクトゼネラルプロデューサー 平野暁臣



「平野ゼネラルプロデューサー（左）と小林理事長」

早いもので、『明日の神話』が渋谷に嫁入りして1年が過ぎた。当初の喧騒もおさまって、いまはみごとにこの街に溶け込んでいる。やはりこれは「壁画だったのだ、という当たり前を痛感するとともに、それが多くの人々を刺激する姿を見るにつけ、渋谷に迎えられる良かった、とつくづく思う。

なにより街の人たちに「この作品は自分たちのもの」との意識が芽生えはじめているのが嬉しい。先日「すす払い」がまさしくその証明だろう。終電と始発の間というひどい条件なのに、みな生き生きと楽しそうに作業をしていた。むろんボランティアだ。その光景を見ていて、この壁画は幸せだなあと思った。この先もこの光景が続いてくれることを心から願う。

渋谷の新たなアイコンとなった『明日の神話』は、これからボディフローのようにジワジワと効いていくはずだ。それが10年後、20年後のこの街をどう変えていくのか、いまからとても楽しみだ。